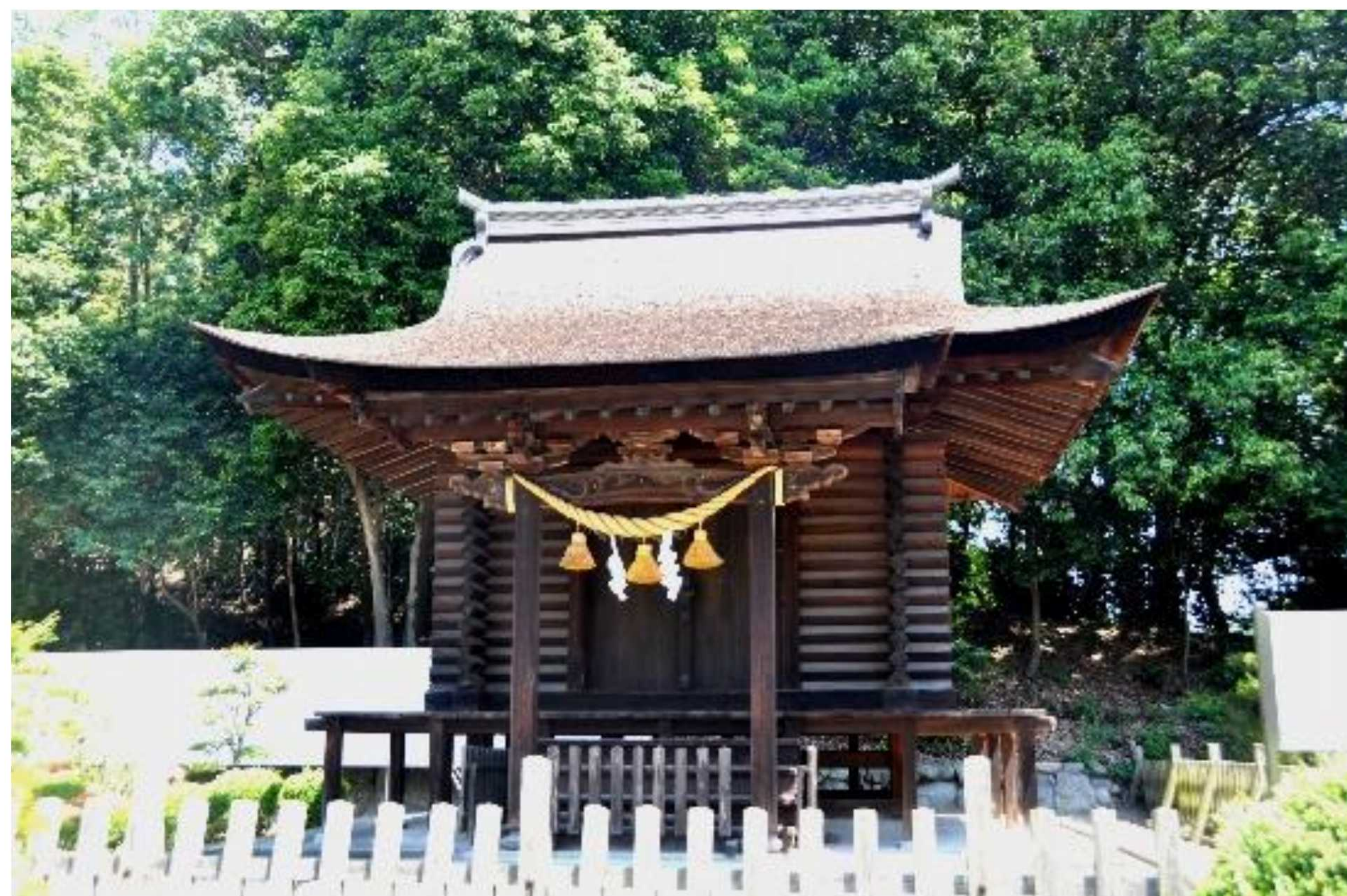


街歩きヒストリア



広島城にあった「三の丸稲荷神社」の宝蔵。現在は多家神社(安芸郡府中町宮の町)の境内にある。

広島城三の丸稲荷神社宝蔵

基町

広島城の三の丸西南隅には、明治時代初期まで「三の丸稲荷神社」という神社がありました。現在の県立体育館(グリーンアリーナ)付近です。

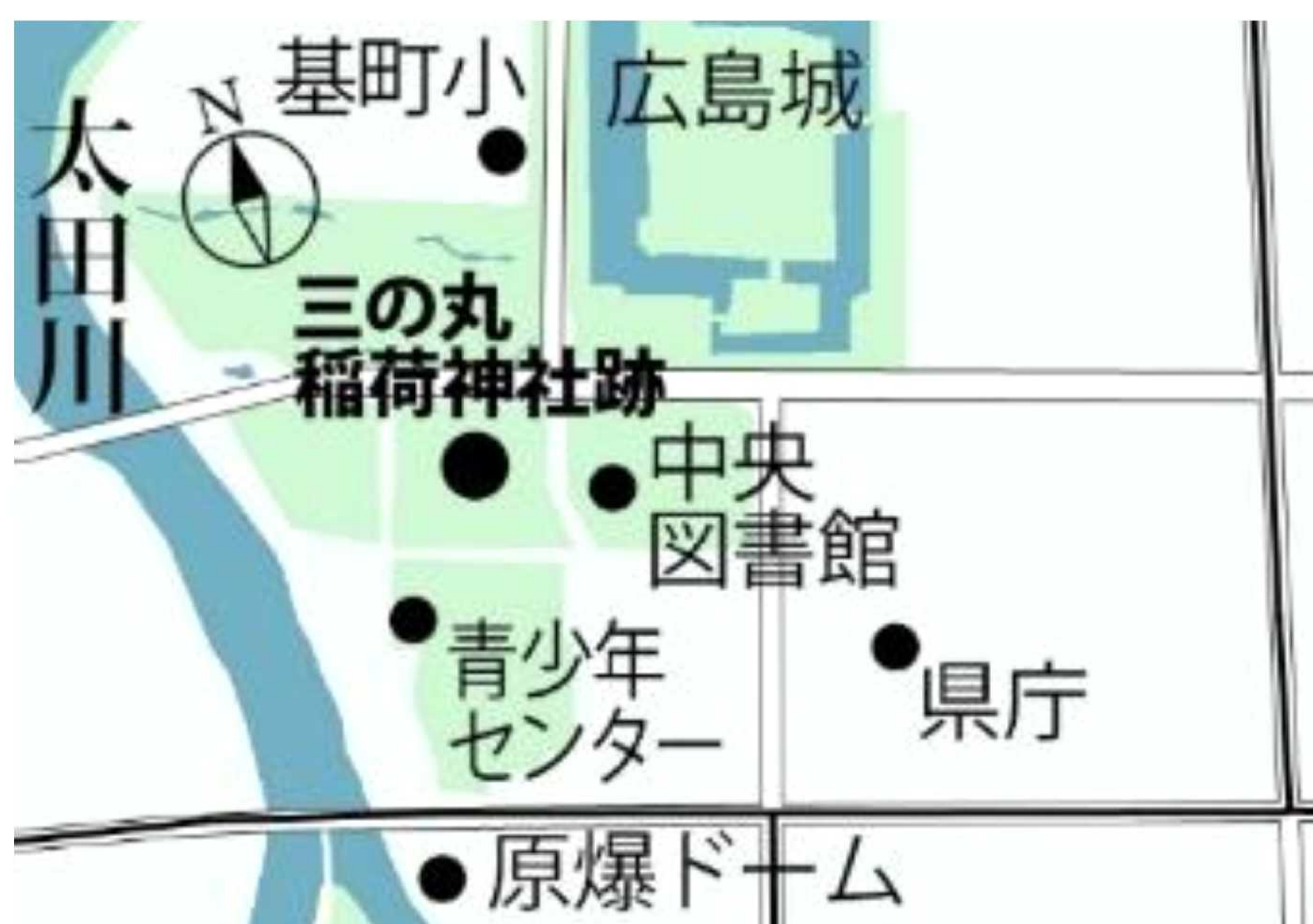
広島城内の建築物は、明治維新後に取り壊されたり原爆で破壊されたりで、今は殆ど残っていません。しかし、府中町の多家(たけ)神社には、この三の丸稲荷神社の宝蔵が現存しています。



上・多家神社の拝殿。右側に校倉造りの宝蔵がある。
左・多家神社の境内案内図

多家神社の案内板には、明治7(1874)年神社創建に際し、三の丸稲荷神社を移築したと記されています。社殿は移築後に焼失しましたが、校倉造りの宝蔵は焼失を免れたのです。広島城にあった神社の宝蔵が、府中町で生き残っている一。何だか奇跡のように思われます。

(文・写真 小川敏明さん)



④④

中央公民館エリア(白島、基町、幟町)の街の魅力と歴史とともに紹介するコラム「街歩きヒストリア」。公募で集まった制作スタッフが集まっています。編集して下さる方を随時募集しております。

【ご案内】中央公民館4階ホールにて「街歩きヒストリア」の一部を展示しています。また、ホームページにも掲載しております。